

環境経営レポート

【2025年度】

対象期間: 2024年11月～2025年10月



発行日 2025年12月8日

承認	作成
久力	枋本

株式会社 久力製作所
代表取締役 久力 章喜

環境経営方針

【環境理念】

株式会社久力製作所は、住宅部品（ドアロック、ドア部品、ユニットバス部品、トイレアクセサリーなど）の製造において、安全で快適な暮らしを確保する為の一員として事業活動を行うと共に、皆の財産である霞ヶ浦（北浦）の保全と地域社会の環境活動を積極的に推進してまいります。

【環境経営方針】

1. 二酸化炭素排出量、水使用量、廃棄物排出量、金属屑排出量の削減に努めます
 - 1) 電気、ガソリン、軽油、灯油の使用量削減
 - 2) 節水活動による水使用量の削減
 - 3) 3R活動の展開による廃棄物の削減
 - 4) 化学物質の適正使用
2. 環境関連法規制を遵守します
3. 環境に配慮した住宅部品作りを推進します
4. 環境に配慮した製造活動を中心に環境経営の継続的改善を行います
5. 環境コミュニケーションの実施
 - 1) 社外に環境活動レポートを公開し、利害関係者のみならず社会、顧客とのより良いコミュニケーションを図ります
 - 2) 社内においては、全従業員が環境経営方針を周知し、全員参画による取り組みを目指します
6. 課題とチャンスについて取り組む事項
 - 1) 積極的にコストダウン活動を行う
 - 2) 高付加価値製品の開発を強化する
 - 3) 開発力を生かした営業を行う
 - 4) 海外販路を積極的に開拓する

2019年 5月 24日

株式会社 久力製作所

代表取締役 久力章喜

組織の概要

1. 事業所名及び代表者氏名

株式会社 久力製作所
代表取締役 久力章喜

2. 所在地

本社工場 茨城県行方市小貫1681-1
第二工場 茨城県行方市小貫1652-1
第三工場 //

3. 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 栃本修一
連絡先 TEL:0291-35-2636 FAX:0291-35-2683

4. 事業の概要

住宅部品(ドアロック、ドア部品、ユニットバス部品、トイレアクセサリなど)の設計、開発、製造及び販売

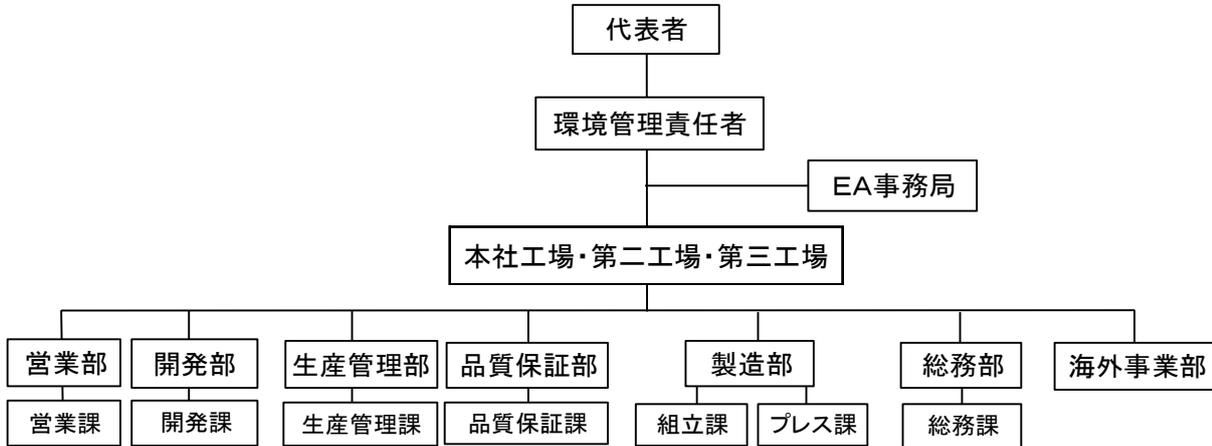
5. 事業規模

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
生産高	t	2,136	2,015	2,057	2,190
売上高	百万円	1,652	1,708	1,744	1,857
従業員	人	57	60	62	69
床面積合計	m ²	2,429	2,429	3,102	3,102

対象の範囲

1. 認証・登録範囲

本社工場、第二工場、第三工場



役割	責任と権限
代表者(社長)	1.環境経営に関する統括責任
	2.環境経営方針の制定、誓約
	3.環境管理責任者並びにEA部門長・EA担当者の任命
	4.環境経営資源(人、物、財源)の確保
	5.環境経営目標設定の承認
	6.環境関連法規等への違反・訴訟等有無の把握
	7.取組状況の全体評価と見直し並びに指示
	8.環境経営レポートの承認
環境管理責任者	1.環境経営システムの確立及び実施、維持
	2.環境経営マニュアルの制定
	3.環境負荷、環境取組の把握及び評価
	4.環境関連法規の調査と遵法性チェック
	5.環境経営目標・環境経営活動計画の策定、まとめ
	6.環境管理委員会の開催(四半期毎)
	7.全従業員、EA部門長・EA担当者への教育・訓練の実施
	8.環境情報(苦情等)の受付対応
	9.環境関連記録のまとめ
	10.環境活動運用状況チェックの承認
	11.特定施設、設備の把握
	12.化学物質情報の把握
	13.緊急事態対応手順の策定、訓練の実施
	14.不適合・是正処置等の実施
	15.取組状況の評価及び社長への報告
	16.環境経営レポートの作成
EA事務局	1.環境管理責任者の事務的業務を担う
	2.環境活動全般の補佐、EA21の運営及び促進
EA部門長・担当者	1.自部門に関連する環境経営目標及び環境経営活動計画の実施状況の記録と報告
	2.自部門の問題点の抽出、是正・予防処置
	3.自部門の関連作業の推進
一般従業員	1.部門の環境経営目標及び環境経営活動計画の実施
	2.環境改善の提案、実施
環境管理委員会	1.参加者:環境管理責任者、EA部門長・担当者

2. 事業内容

住宅部品(ドアロック、ドア部品、ユニットバス部品、トイレアクセサリなど)の設計、開発、製造及び販売、すべての事業活動に適用している。

環境経営目標

No.	項目	単位	基準値	目標値		
			実績値	2025年度	2026年度	2027年度
1	電力使用量の削減 【2024年度売上高原 単位実績値/百万円比】	kg-CO ₂ /百万円 (CO ₂ 実量換算値 kg-CO ₂)	32,303/1,744 =18.52	2%減 18.15	3%減 17.96	4%減 17.78
2	化石燃料使用量の削減 【2024年度売上高原 単位実績値/百万円比】	kg-CO ₂ /百万円 (CO ₂ 実量換算値 kg-CO ₂)	5,855/1,744 =3.36	2%減 3.29	3%減 3.26	4%減 3.22
3	二酸化炭素排出量の削減 【2024年度売上高原 単位実績値/百万円比】	kg-CO ₂ /百万円 (CO ₂ 実量換算値 kg-CO ₂)	38,158/1,744 =21.88	2%減 21.44	3%減 21.22	4%減 21.00
4	水使用量の削減 【2024年度人数原単位 実績比】	m ³ /人 (水実量値m ³)	43.42/57.75 =0.752	2%減 0.737	3%減 0.729	4%減 0.722
5	廃棄物排出量の削減 【2024年度実績値】	t	— 12.55	2%減 12.30	3%減 12.17	4%減 12.05
6	金属屑の削減 【2024年度実績値】	t	— 26.63	2%減 26.10	3%減 25.83	4%減 25.56
7	資源排出金額の削減 【2024年度実績値】	円	— 2,698,500	1%減 2,671,515	2%減 2,644,530	3%減 2,617,545

- ・ 電力使用量の削減目標の計上において、CO₂排出係数は2024年公表(2022年度 ENEOS Power 0.459kg-CO₂/kWh及び東京電力エネルギーパートナー 0.390kg-CO₂/kWh)の基準を使用した。
- ・ No.3二酸化炭素排出量の削減は、No.1電力使用量の削減及びNo.2化石燃料使用量の削減の合算値として項目を設けている。
- ・ No.4 水使用量は月単位平均を設定値とする。また、従業員数は月単位変動で計上する。
- ・ 化学物質使用量(PRTR対象物質)は商品開発試験に限り使用するものであり、年間量としてはごく少量のため削減目標を設定せず適正管理を目標とする。

環境経営目標の実績

○ ≥ 100%…目標達成 100 ≥ △ 95%…やや未達 95% < × …未達

No.	2024年度環境目標	単位	認証サイト	基準値	目標値	実績値	目標達成率	評価
1	電力使用量の削減 【2024年度売上高原 単位実績比2%減】	kg-CO ₂ /百万円 (CO ₂ 実量換算値 kg-CO ₂)	本社工場	32,303/1,744 =18.52	18.15	(35,418 /1,857) 19.07	95%	△
2	化石燃料使用量の削減 【2024年度売上高原 単位実績比2%減】	kg-CO ₂ /百万円 (CO ₂ 実量換算値 kg-CO ₂)	本社工場	5,855/1,744 =3.36	3.29	(6,401 /1,857) 3.45	95%	△
3	二酸化炭素排出量の削減 【2024年度売上高原 単位実績比2%減】	kg-CO ₂ /百万円 (CO ₂ 実量換算値 kg-CO ₂)	本社工場	38,158/1,744 =21.88	21.44	(41,819 /1,857) 22.52	95%	△
4	水使用量の削減 【2024年度人数原 単位実績比2%減】	m ³ /人 (水実量値m ³)	本社工場	43.42/57.75 =0.752	0.737	0.547	126%	○
5	廃棄物排出量の削減 【2024年度実績比2%減】	t	本社工場	12.55	12.30	11.6	106%	○
6	金属屑の削減 【2024年度実績比2%減】	t	本社工場	26.63	26.10	24.13	108%	○
7	資源排出金額の削減 【2024年度実績比1%減】	円	本社工場	2,698,500	2,671,515	1,500,400	144%	○

・ No.1 電力使用量の削減・No.2 化石燃料使用量の削減・No.3 二酸化炭素排出量の削減において、実績値()内はkg-CO₂/売上高の絶対値を表記している。

環境経営活動計画及びその取組結果と評価

No	環境経営活動計画		結果	評価
	項目	手段		
1	電力使用量の削減	・不要な箇所の消灯	○	全社的に日々の節電など電気使用量を抑える活動を継続し、太陽光発電による有効活用などを行った。今年度は太陽光発電パネルの増設されたが、現場(6月)にエアコン×3台が導入されたため、その分電気量増加したことが起因して目標未達成となった。
		・昼休みの消灯	○	
		・パソコン、OA機器等の省エネ設定	○	
		・設備の省エネ	×	
2	化石燃料使用量の削減	・自動車燃料の削減	○	現在、化石燃料はガソリンと軽油のみ計上である。今年度、使用量前年度比は営業車(ガソリン)は50%増、トラック(軽油)は47%増だった。共に営業活動と井貝倉庫の往復などで結果として目標未達成となった。
		・社有車(ハイブリッド仕様)の購入	×	
3	二酸化炭素排出量の削減	上記No1,2参照	/	上記No1,2参照。
4	水使用量の削減	・節水コマの維持管理	○	節水コマの消耗箇所の取替えや女子トイレ消音器のメンテナンスを定期的を実施するなど節水活動を推進した結果、目標達成した。
		・消音器の維持管理	○	
5	廃棄物排出量の削減	・製品不良発生の防止(品質向上)	○	ラップと樹脂不良部品類のリサイクルや木パレットのチャーター便有効利用、入荷先への返却など継続して取り組み排出量を削減した結果、目標達成した。
6	金属屑の削減	・製品不良発生の防止(品質向上)	○	プレス端材の活用など積極的な省資源化への取り組み、不良発生及び不良品在庫による廃棄の削減を実施した結果、目標達成した。
		・プレス加工端材の活用	○	
7	資源排出金額の削減	・製品不良発生の防止(品質向上)	○	外注先へ対して不良内容連絡を行うなど、継続的改善に取り組んだ結果、目標達成した。
		・廃番処理	-	

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

1. 下記の主な法規制を含む全ての適用する法規制の評価において遵守していることを確認しました。また、関係機関等からの違反の指摘、訴訟等も過去18年間ありませんでした。

法規制	遵守状況	違反、訴訟の有無
浄化槽法	○	問題無し
騒音規制法	○	問題無し
振動規制法	○	問題無し
消防法	○	問題無し
労働安全衛生法	○	問題無し
PRTR法	○	問題無し
毒劇物取締法	○	問題無し
RoHS指令	○	問題無し
廃棄物処理法	○	問題無し
家電リサイクル法	○	問題無し
自動車リサイクル法	○	問題無し
資源有効利用促進法	○	問題無し
フロン排出抑制法	○	問題無し
茨城県特定施設に関する条例	○	問題無し
茨城県産業廃棄物(委託契約書管理)に関する条例	○	問題無し
行方市事業系一般ゴミ排出に関する条例	○	問題無し

代表者による全体評価と見直しの結果

- ・未達項目があるもののエコアクション21が有効であることを確認しました。
- ・すべての目標達成のためには更なるアイデアが必要です。
- ・来年度は省エネ診断を実施し目標達成のためのアドバイスを得るようですが、他のアイデアも色々調査し目標達成に向けて更に活動ください。